



自民党豊島区議団

# 細川 正博

【被災地訪問レポート】 Vol. 2  
～いわき市ボランティア報告～



平成 23 年 8 月発行

## 【はじめに】

7/31(日)、福島県いわき市へ日帰りボランティアに行ってきました。

いわき市は豊島区から 200km ちょっとのところのところに位置し、車で片道 3 時間掛からない程度と比較的近いです。(ちなみに以前伺った石巻市までは片道約 6 時間掛かりました)

今回は日帰りボランティアと現地の様子についてご報告します。

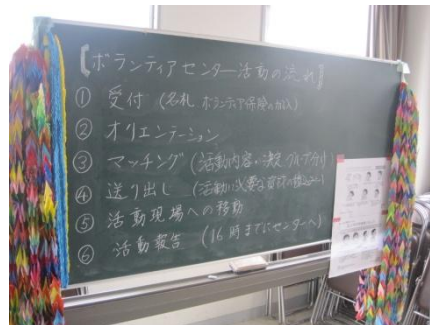
## 【日帰りボランティア】

明け方に大塚を出発、いわき市ボランティアセンターへ向かいました。

ボランティアの登録は非常に簡単でした。作業従事にはボランティア保険加入が必須。事前に地元の社会福祉協議会でボランティア保険へ加入しておくことをお勧めします。



↑各地からの千羽鶴やメッセージ



↑ボランティアの流れの説明を受けます



↑出発直前。センターの前にて。

重機が入れない狭い場所から木材などを片づける作業を行いました。

長袖、長ズボン、防塵マスク、皮手袋の完全装備で、作業中はとにかく暑かったです。



↑片付けた木材など



↑写真右奥にあった木材を片しました



↑センター前でソーメンを頂きました

訛った体に肉体作業は少々きつかったのですが、作業後には清々しい充実感を得られました。

## 【現地の様子】

被災現場を少し視察しました。



↑塩屋埼灯台近く。基礎しかありません… ↑護岸ブロックも破壊されております。↑被災したコンビニ。営業していました。

海沿いの地区はかなり被害を受けておりましたが、少し標高が高くなると全く無傷。

上記写真の豊間地区などは大きな被害を受けたところです。

被災して柱と屋根しかないコンビニで、既に営業が再開されていたのには感動しました。アイスの冷凍庫が一つありましたが、その他は商品棚がないために段ボールへ入れたまま販売。一日でも早い復興を願いつつ、我々も少しだけ買い物をしました。

同じ海沿いの地区でも、かなり復旧が進んでいるという小名浜港周辺にも行ってきました。



↑港には何隻もの船が停泊。

↑水族館の別施設、こども博物館もオープン↑工場の煙突から煙が上がっております。

震災直後は津波の被害がかなりあったようですが、すでに港には何隻もの船が停泊。港の近くにある水族館「アクアマリンふくしま」は被災しながらも7月15日に再オープンを果たすなど、力強く立ち上がっています。

小名浜港近くは臨海工業地帯でもあり、復旧した工場はすでに稼働をしております。高台から見ると工場の煙突からの煙を確認できます。生産活動が行われている証を見て非常に頼もしく思えました。

港近くの信号はまだ動いていないなど津波の爪痕は残っておりますが、この地区は確実に復興へ進んでおります。

## 【ボランティアに参加して】

同じいわき市内でも被害の状況は地区によって異なり、復旧のスピードにも違いがあります。

都心から比較的近いいわき市ですら、まだまだ復旧・復興へボランティアの活動が必要です。

これからも幅広く息の長い応援が被災地の復旧・復興には欠かせないと改めて実感しました。

### 子ども達の世代へ責任ある政治を！！

発行責任者：細川 正博

住 所：〒170-0005

東京都豊島区南大塚 1-51-17

TEL/FAX：03-3945-2530

e-mail：[info@hosokawamasahiro.jp](mailto:info@hosokawamasahiro.jp)

公式サイト：<http://www.hosokawamasahiro.jp/>

Twitter：@toshimahosokawa